

「第 60 回夏季県外史跡踏査報告—静岡県興津・駿府・日本平方面（静岡市）」
—近世・近代に関東・日本を動かした政治拠点・駿府の歴史的变化・駿河国の首都・駿府の地域
社会と歴史・文化を探究する—

川崎市立川崎高等学校 阿部 功嗣

はじめに

令和 5 年度(2023)夏季県外史跡踏査は、8 月 17 日に下記コースと講師陣で、昨年引き続き日帰りでの実施となった。本稿は静岡市立歴史博物館および駿府城の踏査に絞った報告とし、他の踏査地についての報告は社会科部会報 91 号(2023 年 10 月発行)をご参照いただきたい。
・踏査コース…小田原駅(7:45)→興津宿・清見寺・坐漁荘→静岡市歴史博物館(講義)・駿府城(自由見学・各自昼食)→神部・浅間神社→(浮月楼・慶喜屋敷)→日本平・ロープウェイ→久能山東照宮(本殿・家康廟・博物館)→横浜駅(20:00 頃)
・講師…伏見鑛作氏(清見寺ボランティアガイド)・廣田浩治氏(静岡市歴史博物館学芸課長)

1 大御所政権と近世駿府の歴史的位置

2023 年 1 月に開館した静岡市歴史博物館は、駿府城三の丸、静岡県庁(21 階建て)の東隣、旧青葉小学校校舎跡地に位置する。2016 年からの発掘調査で話題となった戦国時代末期の道路と武家屋敷の石垣遺構が 1 階ロビーに保存され、誰でも見学することができる。遺構展示隣の学習支援スペースにて廣田氏より「近世の駿府」についてお話を伺った。

大御所政治期の駿府は 8 千軒・人口 3～4 万人と推定され、10 万人の京都には及ばずとも当時の江戸に匹敵する大都市だった。1605 年に家康が居城とすると、天下普請が発せられ、秀吉が中村一氏に築かせた天正期城郭からの大修築が行われた。以後、最初の朝鮮通信使(1607)や琉球国王尚寧(1610)、オランダ国王使節(1609)らも家康に駿府城内で謁見した。家康が駿府を拠点とした理由は幼少期・戦国期を過ごしたからだけでなく、京都・大坂・堺・長崎など重要都市や諸鉱山からの街道が、江戸の前に駿府を經由し、江戸の秀忠を守り幕府の確立を促進するにうってつけの位置であったからだという。またその政治的位置は、家康の「隠居所」ではなく、江戸の将軍秀忠と並ぶ「両御所」、つまり、のちの江戸城本丸の将軍家光と、西の丸の大御所秀忠との関係に近いものであった。

2 館内の展示と駿府城本丸発掘現場

2 階常設展示室の入り口では、「家康の生涯を象徴する」2 領の鎧、元服にあたり今川義元から贈られた腹巻(赤)と、晩年に着用した歯朶具足(黒)が鮮やかに復元され我々を迎えた。古文書や今川家当主の木像、掛け軸などから、今川氏の全容と、天下人家康が幼少～青年期を過ごした中世・戦国期の駿府、「家康の洋時計」(復元)をはじめ、南蛮船・朱印船に関する展示から、各国からの使節が行き来した大御所政治期の駿府について学んだ。

駿府城二の丸異櫓を一望にできるテラスを通り 3 階常設展示室へ入ると、正面に豪華な東海道図屏風が展示され、江戸時代初期の東海道の風景や人々の様子を詳細に観察することができた。続いて、東海道の宿駅として江戸期を通じて栄えた駿府の町人の暮らしぶり、地域産業が紹介される。さらに、諸藩とは対照的に、1869 年の版籍奉還と同時に誕生した静岡藩、旧幕臣たちの英知を集めた近代化の諸施策や茶生産などの諸事業、最後に国際貿易港としての清水港の発展の様子を学んだ。最後に静岡藩主、徳川家達直筆「彰往考来」

の額からは、未来への発展に対する願いが強く感じられた。

3階企画展示室では、「東海の名刹臨濟寺～義元・家康ゆかりの禅寺」が開催されており、時間の関係で踏査コースから外さざるを得なかった、今川義元創建の氏寺臨濟寺の由緒と歴史について、義元の葬儀や供養に関する古文書や江戸期の寺領に関する絵図を中心に学ぶことができた。

博物館に隣接する異櫓は、1996年に旧来の工法に則り復元されたもので、内部は駿府城の資料展示室となっている。駿府城公園の中心部にあたる本丸周辺は、2016年から発掘調査が続き、踏査時には発掘現場が一般の来園者に公開されていた。戦国武将家康が居城とした時期、秀吉期、そして天下人家康による江戸期、それぞれ積み方が異なる石垣を間近に観察することができた。江戸期を通じて2度の大地震があり、これによって大きく崩れた石垣を積みなおした痕跡が石垣の面にはっきりと残っていた。発掘現場内の発掘情報館きゃっしるでは、豊臣期の金箔瓦などの出土品や、発掘調査で分かった新事実についての展示があった。最後に、公園のほぼ中央にたたずむ家康公像、家康公お手植え蜜柑などを見学し、駿府城を後にした。

おわりに

今回の踏査地である清見寺・坐漁荘・駿府・久能山では、近世や近現代の朝鮮・琉球・ヨーロッパとの外交で活躍した人物の事績や遺物・古文書の歴史的意義について学ぶことができた。今回の踏査で知見を得た多くの歴史資料を、「世界の中の日本」、「隣国との対立や親善」をテーマとした今後の歴史総合や探究の授業作りに生かしていきたい。



静岡市歴史博物館・学習支援スペース



駿府城公園・家康公像



駿府城二の丸・異櫓(歴史博物館より展望)



駿府城本丸発掘現場・慶長期天守台石垣